

# 第9回令和5年度 秋田県立大学 部局間研究交流フォーラム

2023. **9.21** [木] 14:00~17:15  
(受付開始13:30~)  
カレッジプラザ講堂 秋田市中通2丁目1-51

## プログラム

14:00~14:05 学長講話 学長 福田 裕穂

---

### 重点プロジェクト研究

14:10~14:30 生物資源科学部アグリビジネス学科(兼)アグリイノベーション教育研究センター  
教授 上田 賢悦

14:30~14:50 システム科学技術学部情報工学科 教授 堂坂 浩二

14:50~15:10 木材高度加工研究所 助教 沈 昱東

15:10~15:40 (質疑応答・休憩)

### 重点プロジェクト研究

15:40~16:00 本荘キャンパス地域連携・研究推進センター  
特任准教授 高橋 克行

16:00~16:20 生物資源科学部生物生産科学科 准教授 頼 泰樹

16:20~16:40 総合科学教育研究センター 准教授 山崎 健一

16:40~17:00 生物資源科学部アグリビジネス学科 准教授 佐藤 勝祥

17:00~17:10 (質疑応答)

---

17:10~17:15 総評 理事兼副学長 蒔田 明史

※研究の概要は次ページを御覧下さい。



Akita Prefectural University

公立大学法人 **秋田県立大学** 地域連携・研究推進センター

## 研究概要紹介

生物資源科学部アグリビジネス学科(兼)アグリイノベーション教育研究センター(AIC) 教授 上田 賢悦  
「スマート農業の社会実装に向けた教育プログラム(スマート農業指導士育成プログラム)の開発」

データに基づく経営判断や意思決定を行うスマート農業を更に進めていくには、スマート農業技術そのものや、様々なデータの活かし方を理解し、農業経営を支援する人材の育成が急務となります。そこで、スマート農業支援人材を育成する全国初の教育プログラムの開発と実践への取り組みを紹介します。

システム科学技術学部情報工学科 教授 堂坂 浩二  
「自然言語処理による人間の知的活動の支援」

本研究の目的は、人間が生成する言葉から知識を抽出し活用する自然言語処理の高度化を通じて、教育、福祉などの多様な分野における人間の知的活動を支援することです。県内企業との共同研究を含む取り組みについて紹介します。

木材高度加工研究所 助教 沈 昱東

「冷温帯に生育する主要広葉樹種の肥大成長および材質に関する年輪年代学的研究」

広葉樹の有効利用を促進するためには、樹幹の材質や成長の特性、および制限する気候要因を解明する必要があります。本研究では、冷温帯主要な広葉樹種を対象に年輪年代学的手法を用いた研究結果を紹介します。

地域連携・研究推進センター(本荘キャンパス) 特任准教授 高橋 克行  
「航空機電動化プロジェクトの取り組み」

近年、カーボンニュートラルが叫ばれており、航空機に関しても二酸化炭素の排出を減らすことが求められています。二酸化炭素の排出を減らす一手段として航空機の電動化があり、電動化への取り組みを紹介します。

生物資源科学部生物生産科学科 准教授 頼 泰樹

「純農村地域の再生可能エネルギー利用」

秋田県大潟村では農業を基軸としつつ、環境創造型農業宣言、バイオマス産業都市の認定、環境省脱炭素先行地域事業と村内への自然エネルギーの導入などを積極的に進めています。持続可能な農村には何が必要とされているのか、事業から考えたことを発表します。

総合科学教育研究センター 准教授 山崎 健一

「英会話課外活動の紹介と英語コミュニケーション能力に関する質的研究」

秋田県立大学における英会話課外活動で用いられている練習法や会話のトピックを紹介します。また、活動に参加した学生の英会話力の変化について、質的に分析した事例を発表します。

生物資源科学部アグリビジネス学科 准教授 佐藤 勝祥

「赤身肉の産肉性と肉質の向上に向けて」

赤身肉の産肉性と肉質の向上に向けて、地域産の未利用飼料資源に含まれる機能性成分や内分泌ホルモンに着目して研究を行っています。肉質については、“筋線維型”を指標として、より美味しい赤身肉の生産を目指しています。

メモ欄